

第11回国際精子学シンポジウムへの参加のお誘い

精子学技術者の皆様

第11回国際精子学シンポジウム(下記web site)、特に日本語による魅力的な内容の**生殖技術ワークショップ**および**Luncheon Seminar by Merck Serono S.A.**についてご案内いたします。

生殖技術ワークショップ

日時: 2010年6月27日(日曜)午前9:30-15:00(予定)

精子学シンポジウム及びワークショップ会場: 沖縄コンベンションセンター

精子学シンポジウム及びワークショップ参加費: 生殖技術者4万円(全登録期間)、

プログラム:

開会挨拶 未定

1) 講演: 日本における生殖医療の現状(仮題) 森本義晴先生(IVF なんばクリニック)

2) 講義と実際: 精子の調整法 兼子 智先生(東京医科大学市川総合病院)

3) 企業デモンストレーション 精子の調整法

4) ランチオンセミナー(メルクセローノ社)

座長 吉村 泰典先生(慶応大学医学部教授)

講師 田中 温先生(セントマザー産婦人科医院長)

5) 講義: 精子の形態評価とIMSI 年森清隆先生(千葉大学大学院医学研究院)

6) 企業デモンストレーション: 画像解析による精子形態観察 Nikon 社、Zeiss 社 他、

7) 総合討論: 押尾 茂先生(奥羽大学薬学部教授)

閉会挨拶: 岡田 弘先生(独協医科大学越谷病院教授)

Workshop by Leica Microsystems GmbH、Workshop by MICROPTIC S.L.(Spain)などICSI、IMSI、Sperm motility analysisに関するワークショップを企画しております。

Luncheon Seminar by Shionogi Pharma Inc., Schering-Plough Co., ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.(operated by English)では森本義晴、兼子 智、柴原浩章先生による講演があります。

本シンポジウムへの参加は日本哺乳類卵子学会より『生殖補助医療胚培養士資格更新認定学会』、日本臨床エンブリオロジスト学会より『認定臨床エンブリオロジスト資格更新認定学会』の指定を受けております。また、参加の技術者の皆様へは全参加登録期間、登録料は4万円となっております。第1回国際精子学シンポジウムへの参加は胚培養士の先生のキャリア及び生殖技術の理解を高めるために有効な学会であり、ぜひ皆様の国際精子学シンポジウム及びワークショップへのご参加をお勧めする次第です。

参加登録は下記シンポジウム web site よりお願いいたします。

<http://www2.mmbs.s.u-tokyo.ac.jp/spermatology2010/index.html>

問い合わせ先: シンポジウム事務局 spermatology2010@mmbs.s.u-tokyo.ac.jp